

取扱説明書



AC/DCクランプセンサ付

デジタルマルチメータ

TA452TM

TASCO
High Quality Products

1. 使用上の注意（安全に関する注意）

○本製品はIEC61010電子測定装置に関する安全規格に準拠して、設計・製造の上、検査合格した最良の状態でお届けしています。この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項及び、本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事項が書かれていますので、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

△ 警告

- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- この取扱説明書は、手近な所に大切に保管し、必要などきいつでも取り出せるようにしてください。
- 取扱説明書で指定した製品本来の使用方法を守ってください。
- 本書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。

以上の指示を必ず厳守してください。指示に従わないと、怪我や事故の恐れがあります。危険及び警告、注意事項に反した使用により生じた事故や損傷については、弊社としては責任と保証を負いかねます。

○本製品に表示の △ マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表しています。尚、この △ マークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

△ **危険**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。

△ **警告**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるされる内容を表示しています。

△ **注意**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品および取扱説明書には、以下のシンボルマークが表示されています。それぞれのマークが意味する内容をよく理解した上で御使用下さい。

	取扱説明書を参照する必要があることを示しています。人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要があります。
	二重絶縁または強化絶縁で保護されていることを示しています。
	隣接表示の測定カテゴリに対する回路一大地間電圧以下であれば活線状態の導線線をクランプできる設計であることを示しています。
	交流(AC)を示しています。
	直流(DC)を示しています。

3. 仕様

- 測定範囲及び精度（23℃±5℃ 相対湿度75%以下）

交流電流 \sim A（実効値） 測定最大電流120A

レンジ	表示範囲	精度保証範囲	精度
60A	0.00～60.39A	0.00～60.00Arms (85Apeak以下)	±2.0%rdg±5dgt (45～65Hz)
120A	0.0～603.9A	0.0～120.0Arms (170Apeak以下)	(正弦波)

※クレストファクタ<2.5の正弦波以外に対しては、精度に±2% of 読み値+2% of フルスケール)を追加。

直流電流 \equiv A 測定最大電流120A

レンジ	表示範囲	精度保証範囲	精度
60A	±0.00～60.39A	±0.00～60.00A	±2.0%rdg±8dgt
120A	±0.0～603.9A	±0.0～120.0A	±2.0%rdg±5dgt

交流電圧 \sim V（実効値） オートレンジ 測定最大電圧600V

レンジ	表示範囲	精度保証範囲	精度
6V	0.000～6.039V	0.300～600.0Vrms (850Vpeak以下)	±1.5%rdg±5dgt (45～400Hz) (正弦波)
60V	5.60～60.39V		
600V	56.0～603.9V		

※入力インピーダンス：約10MΩ、入力容量：200pF以下。
※クレストファクタ<2.5の正弦波以外に対しては、精度に±2% of 読み値+2% of フルスケール)を追加。

直流電圧 \equiv V オートレンジ 測定最大電圧600V

レンジ	表示範囲	精度保証範囲	精度
600mV	±0.0～603.9mV	±0.0m～600.0V	±1.0%rdg±3dgt
6V	±0.560～6.039V		
60V	±5.60～60.39V		
600V	±56.0～603.9V		

※入力インピーダンス：約10MΩ。

	本製品は、WEEE指令マーキング要求に準拠します。この電気電子製品を一般家庭廃棄物として廃棄してはならないことを示します。
	このマークは、EU新電池指令に規定されているとおり分別収集が義務付けられていることを意味しています。EU域内のみ有効です。電池単体で処分する際は、廃棄に関する国内法に従い処分してください。EU域内では、電池の回収機構が整備されているため適切な処分をおねがいいたします。

△ 警告

測定カテゴリについて
本製品は、安全規格に規定された測定カテゴリによって使用電圧の制限があります。
AC/DC 600V CAT II AC/DC300V CAT III

CAT II 家庭機器、携帯工具など低電圧設備に直接接続された回路上で実施する測定のためのものです。

CAT III 配電盤、回路遮断器など建造物設備内で実施する測定のためのものです。

△ 危険

- 本製品は、600V（対地電位300V）以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 引火性ガスのある場所で測定しないでください。火花が出て爆発する危険があります。
- 本製品や手が濡れている状態では、絶対に使用しないでください。
- 測定の際には測定範囲を超える入力を加えないでください。
- 測定中は絶対に電池蓋を開けないでください。
- クランプセンサおよび、本製品のケースが破損または外れている場合には、絶対に測定をしないで下さい。
- 指定した操作方法および条件以外で使用した場合、本体の保護機能が正常に動作せず本製品を破損したり感電等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

△ 警告

- この測定器を使用しているうちに、本体、測定コード、クランプセンサケーブルに亀裂が生じたり、金属部及び、内部配線が露出したときは、直ちに使用を中止してください。
- 被測定物に測定コードを接続したまま、ファンクション切換スイッチを切換えないでください。

- 本製品の分解、改造、代用部品の取り付けはしないでください。修理・調整が必要な場合は、当社または取扱店宛にお送りください。

- 本製品が濡れている状態では電池交換をしないでください。
- 電池交換のため電池蓋を開けるときは、測定コード及びクランプセンサを被測定物から必ず外し、ファンクション切換スイッチをOFFにした状態で行ってください。
- 測定コードの先端には、測定コードキャップが付属されています。安全のため、測定コードキャップを取り付けて使用してください。

△ 注意

- 本製品の使用は住宅・商業用および軽工業の環境に制限されます。付近に強い電磁干渉装置や大電流による大きな磁界がある場合は、正確な測定ができない場合があります。
- 測定を始める前に、ファンクション切換スイッチを必要なファンクションにセットしたことを確認してください。
- 電流測定の際は必ず測定コードを本製品ホルダーへ収納してください。
- 高温多湿、結露するような場所及び直射日光の当たる場所に本製品を放置しないでください。
- 本製品は防じん・防水構造となっておりません。ほこりの多い場所および水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 使用後は必ずファンクション切換スイッチをOFFにしてください。
- 長期使用しない場合は、電池を外し保管してください。
- クリーニングには、研磨剤や有機溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使用してください。

2. 特長

- 標準付属のクランプセンサにより120AまでのAC/DC電流測定が可能です。
- プローブ型クランプセンサの採用で、狭い場所、配線の込み込んだ場所でも楽に測定することができます。
- コアの開閉をすることなく電流測定を行うことができます。
- 真の実効値測定が可能。
- オートパワーセーブ機能付き。
- プザーによる導通チェックができます。

- 表示を固定できるデータホールド機能。
- バーグラフ表示付きディスプレイ。
- 収納に便利な衝撃吸収ホルスター付き。
- 国際安全規格IEC61010-1準拠の安全設計。測定CAT III 300V / CAT II 600V 汚染度2

[実効値 (RMS) について]
実効値はRMS (Root-Mean-Square, 二乗平均) 値とも呼ばれ、

$$RMS = \sqrt{I_{in}^2} (= \sqrt{V_{in}^2})$$

入力電流 (電圧) lin (Vin) を二乗して平方根をとっているため、同じ電力を持つDC電流 (電圧) に換算されると考えられます。一方、平均値整流実効値校正は、単に入力電流 (電圧) lin (Vin) を整流して平均化したもので同じ正弦波を測定した場合、実効値との違いは次表の通りです。
平均値に波形率 ($\frac{\text{実行値}}{\text{平均値}}$) = 1.111 を乗じることにより実効値との誤差を無くしていますが、正弦波以外の波形を測定するときは波形率が変化するため実効値との誤差を生じます。

[クレストファクタ (CF、波高率) について]
クレストファクタは、 $\frac{\text{波高値}}{\text{実行値}}$ で表します。
例) 正弦波; CF = 1.414
デューティレシオ1:9の方形波; CF = 3

波 形	実効値 Vrms	平均値 Vavg	波 形 率 Vrms/Vavg	平均値検波 測定器指示誤差	クレストファクタ CF
	$\frac{1}{\sqrt{2}}A$ ≒0.707	$\frac{2}{\pi}A$ ≒0.637	$\frac{\pi}{2\sqrt{2}}$ ≒1.111	0%	$\sqrt{2}$ ≒1.414
	A	A	1	$\frac{A \times 1.111 \times 100}{A}$ =11.1%	1
	$\frac{1}{\sqrt{3}}A$	0.5A	$\frac{2}{\sqrt{3}}$ ≒1.155	$\frac{0.5A \times 1.111 \times \frac{A}{\sqrt{3}} \times 100}{\frac{A}{\sqrt{3}}}$ =3.8%	$\sqrt{3}$ ≒1.732
	$A\sqrt{D}$	$A \frac{t}{T} = A \cdot D$	$\frac{A\sqrt{D}}{AD} = \frac{1}{\sqrt{D}}$	$\frac{(1.111/\sqrt{D}-1)}{\times 100\%}$	$\frac{A}{A\sqrt{D}} = \frac{1}{\sqrt{D}}$

- 適 応 規 格 IEC61010-1測定CAT III 300V 汚染度2
測定CAT II 600V 汚染度2

IEC61010-031
IEC61010-2-032, IEC61010-2-033
EN 61326-1 (EMC規格)
EN 50581 (RoHS)

- 動 作 方 式 Δ S変調方式
- 表 示 液晶表示
最大6039カウント
※ただし、周波数測定：9999カウント
容量測定：4039カウント
ダイオード測定：1999カウント
バーグラフ 最大30ポイント

- 表 示 更 新 約3回/秒
- 使用環境条件 屋内使用、高度2000m以下
- 使用温湿度範囲 0～+40℃ 相対湿度85%以下
(結露のないこと)
- 保存温湿度範囲 -20～+60℃ 相対湿度85%以下
(結露のないこと)

- 電 源 DC3V：R03 (UM-4) 2本
- 消 費 電 流 約3mA (DCV) / 約13mA (ACA)
- オートパワーセーブ機能 スイッチ操作後約15分でパワーセーブ状態へ移行。
- 電池電圧警告 2.4±0.15V以下で「**BATT**」マーク点灯。
- 過 負 荷 保 護 交流電圧、直流電圧、周波数：
DC / ACrms 720V 10秒間
交流電流、直流電流：
DC / ACrms 150A 10秒間
抵抗、導通、ダイオード、容量：
DC / ACrms 600V 10秒間

- 耐 電 圧 AC3470V 5秒間 (電気回路と外箱間)
- 絶 縁 抵 抗 100MΩ以上 / 1000V (電気回路と外箱間)
- 被測定可能導体径 最大約φ12mm
- 外 形 寸 法 128(L)×92(W)×27(D)mm
- 質 量 約220g
- 付 属 品 電池R03 (UM-4) ……………2個
取扱説明書 (和文、英文) ……………各1部

注記○表中の「-」は、表示はされますが、精度を保証していないことを示します。

保証書

TA452TM	製造番号
保証期間	ご購入日(年 月 日)より1年間

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に通常のお取り扱いで万一故障が生じた場合は、保証規定により無償で修理いたします。本書を添付の上、ご依頼ください。

お 名 前	
ご 住 所	
お電話番号	

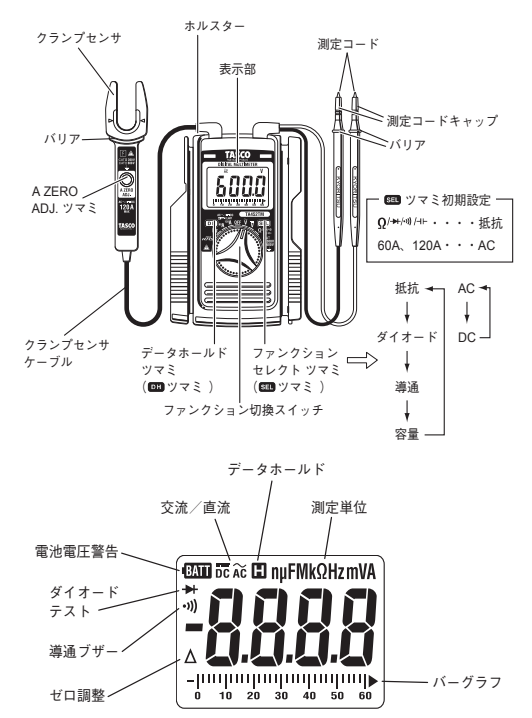
◎本保証書に製造番号、ご購入日、およびお名前、ご連絡先をご記入の上、大切に保管してください。
◎本保証書の再発行はいたしません。
◎本保証書は日本国内でのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証規定
保証期間内に生じた故障は無償で修理いたします。但し、下記事項に該当する場合は対象から除外させていただきます。(送料等諸掛りはお客様のご負担となります。)

- 取扱説明書と異なる不適切な取り扱い、または使用方法が原因で発生した故障。
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
- 弊社サービス担当者以外による改造、修理が原因で生じた故障。
- 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障。
- 傷など外観上の変化。
- その他弊社の責任と見なされない故障。
- 電池など消耗品の交換、補充。
- 保証書のご提出がない場合。

販売元：**株式会社 イチネン TASCO**
 本社：〒577-0002 大阪府東大阪市福田上町1-17-20
 TEL:06-6748-9260 FAX:06-6748-9270
 HPアドレス：http://www.tascojapan.co.jp/

4. 各部の名称、説明



クランプセンサ：
　電流検出用センサ
AZERO ADJ.ツマミ：
　直流電流でのゼロ調整での指示値をリセットします。
バリア：
　操作中の感電事故を防ぐため、最低限必要な浴面及び空間距離を確保するための目印です。
データホールドツマミ：
　表示部の測定値を固定するためのスイッチです。
ファンクション切換スイッチ：
　測定ファンクション切換のスイッチです。また、電源スイッチをかねておりOFFの位置で電源が切れます。

注記◇ダイオード測定中は、クランプセンサをホルスターに収納してください。

6-5 導通測定
(1)ファンクション切換スイッチを抵抗“Ω/▶▶/▶/▶/▶”にセットします。
(2)**SEL** ツマミを押して表示部上部に“>”のマークを表示します。
(3)被測定回路の両端に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示され、35±25Ω以下の場合、ブザーが鳴動します。

注記◇導通測定中は、クランプセンサをホルスターに収納してください。

6-6 容量測定
(1)ファンクション切換スイッチを抵抗“Ω/▶▶/▶/▶/▶”にセットします。
(2)**SEL** ツマミを押して表示部上部に“F”のマークを表示します。
(3)被測定コンデンサの両端に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。
注記◇容量測定中は、クランプセンサをホルスターに収納してください。

6-7 周波数測定

△ 危険

- 感電の危険を避けるため600V（対地電位300V）以上電位のある回路での測定は、絶対にしないでください。
- 電池蓋を外した状態で絶対に測定しないでください。
- 測定コードを被測定物に取り付けた状態で電流測定をしないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越える事のないよう充分注意してください。

(1)ファンクション切換スイッチを“Hz”にセットします。
(2)〔電流の周波数を測定する場合〕
　被測定導体の1本をクランプセンサ矢印の中心に合わせてください。表示部に測定値が表示されます。

〔電圧の周波数を測定する場合〕
被測定回路に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。

注記
◇周波数測定をする際は、クランプセンサと測定コードを同時に被測定物に取り付けられないでください。

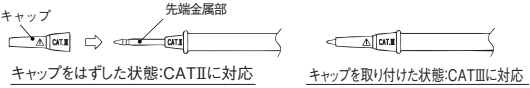


禁止

◇クランプセンサで、周波数測定中は、ホルスターに測定コードを収納してください。
測定コードで、周波数測定中は、クランプセンサをホルスターに収納してください。

ファンクションセレクトツマミ：
測定モードを切り換えるスイッチです。電源を入れた初期状態ではΩレンジでは抵抗、押すたびに抵抗→ダイオード→導通→容量→抵抗と切り換ります。60A、120Aレンジでは電源を入れた初期状態ではAC、押すたびにAC→DC→ACと切り換ります。

測定コードキャップ：
キャップを着脱することでCAT IIとCAT III環境下での測定に対応します。
測定場所にあった正しい方法でご使用ください。



△ 注意

- キャップは奥までしっかりと差し込んで装着してください。

5. 測定を始める前に

(1)電池電圧のチェックを行ってください。
ファンクション切換スイッチをOFF以外の位置にセットしてください。このとき表示が鮮明で“>BATT”マークが表示されていないならば電池電圧はOKです。表示が出ない又は、“>BATT”マークが表示されている場合は、8. 電池の交換に従い、新しい電池と交換してください。

△ 注意

- ファンクション切換スイッチがOFF以外の状態で、表示が消えている場合があります。これはパワーセーブ機能により自動的に電源が切れた状態です。この場合は、ファンクション切換スイッチまたは、いずれかのツマミを操作してください。このとき表示が消えたままの場合は、電池が完全に消耗していると考えられます。この場合は新しい電池に交換してください。

(2)測定したいファンクションになっているか確認してください。
データホールド機能が動作していないか確認してください。ファンクションが違っていると希望する測定ができません。

(3)測定コードのホルスター装着
測定コードをホルスターに装着して、測定値を確認しながらの測定が可能です。



△ 警告

- 本製品の使用前、あるいは指示結果に対する対策を取る前に、既知の電源で正常に動作することを確認してください。

7. その他機能

7-1 オートパワーセーブ機能

△ 注意

- パワーセーブ状態でわずかながら電流を消費しますので、使用されないときは、必ずファンクション切換スイッチを“OFF”にしてください。

電源の切り忘れによる電池の無駄な消耗を防ぎ、電池寿命を延ばすための機能です。
ファンクション切換スイッチ、またはツマミ操作後、約15分間で自動的にパワーセーブ状態になります。
パワーセーブ1分前にブザーが5回鳴り、直前にピーと鳴ることでパワーセーブ状態へ移行します。

〔解除方法〕
　パワーセーブ中に、>DHまたは>SEL ツマミを操作します。
注記◇オートパワーセーブ機能を解除する際に、>DHまたは>SEL ツマミを長押しすると、そのツマミの機能が有効になります。
(例)60Aでパワーセーブ状態の時、>SEL ツマミを長押しすると、パワーセーブ機能が解除され、さらに初期設定のACからDCへ切り換わります。

〔オートパワーセーブ機能停止〕
オートパワーセーブ機能を停止するには、>SEL ツマミを押した状態で、ファンクション切換スイッチをOFFから任意のファンクションへセットします。

注記◇ファンクション切換スイッチを“60A”または“120A”にセット中の場合、A ZERO ADJツマミを2秒以上長押しすることでも、オートパワーセーブ機能の停止が可能です。この場合、再度A ZERO ADJツマミを2秒以上長押しすることで解除されます。

〔オートパワーセーブ機能停止の解除〕
ファンクション切換スイッチをOFFにした後、再度、任意のファンクションへセットします。

7-2 データホールド機能

測定した値を表示部に固定する機能です。>DH ツマミを1度押しと、そのときの指示値が保持されます。
データホールド中は、表示部に“>H”のマークが表示され、入力に変化しても指示値は変わりません。

〔解除方法〕
再度 >DH ツマミを押します。

注記◇導通測定、ダイオード測定時に、データホールド機能を使用することはできません。

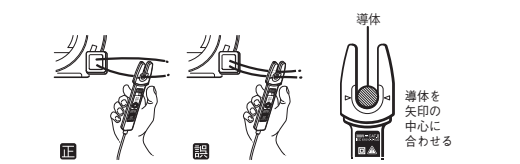
◇>SEL ツマミ、A ZERO ADJツマミが有効なファンクションでは、データホールド中であっても、>SEL ツマミ、A ZERO ADJツマミを押すと、データホールドは解除されます。

6. 測定方法

6-1 電流測定

△ 危険

- 感電の危険を避けるため600V（対地電位300V）以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定コードを被測定物に取り付けた状態で電流測定をしないでください。
- 電池蓋を外した状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越える事のないよう充分注意してください。
- 被測定物やその周辺を触ると感電が想定される場所での測定には、絶縁保護具を着用してください。



△ 注意

- クランプセンサ部取扱いの際は、衝撃、振動や無理な力が加わらないよう注意してください。
- 被測定可能導体径はφ12mmです。

注記◇電流測定中は、ホルスターに測定コードを収納してください。◇120A以上表示可能ですが、測定範囲は120Aまでです。

6-1-1 直流電流の測定
(1)ファンクション切換スイッチを“60A”または“120A”にセットします。
(2)>SEL ツマミを押して表示部に“>DC”のマークを表示させます。
(3)クランプセンサ部のA ZERO ADJ.ツマミを押し、本製品の表示をゼロにします（ゼロ調整）。ゼロ調整をしない場合、誤差を生じます。
(4)被測定導体の1本をクランプセンサ矢印の中心に合わせてください。（矢印の中心でない場合誤差を生じます。）表示部に測定値が表示されます。

注記◇クランプ電流の向きは、表側（表示部側）から裏側へ流れる場合は、プラス+になり裏側から表側へ流れる場合は、マイナスになります。
◇マイナスの電流を測定中は、指示値及びバーグラフ左側に“-”マークが表示されます。
◇ファンクション切換スイッチの60A、120Aを切換えると、ファンクションは、ACに戻るため、再度 >SEL ツマミを押して“>DC”に設定する必要があります。
◇ゼロ調整は、電流測定時のみ有効な機能です。

8. 電池の交換

△ 警告

- 感電事故を避けるため、電池交換の際は測定コードを被測定物から外し、ファンクション切換スイッチを、必ずOFFにしてください。

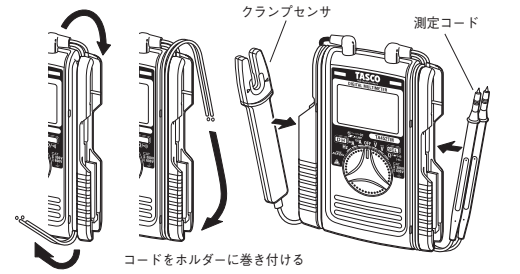
△ 注意

- 違う種類の電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池の極性を間違えないよう、ケース内の刻印の向きに合わせて入れてください。

電池の電圧警告“>BATT”マークが表示部の左上に表示されたら、新しい電池と交換してください。また、電池が完全になくなっている場合は、表示部が消え“>BATT”マークも表示されませんので注意してください。

〔電池交換手順〕
(1)電源スイッチを“OFF”にします。
(2)ホルスターから本製品を取り出します。
(3)本製品背面の下部に付いている電池蓋のネジをゆるめ電池蓋を外します。
(4)新しい電池と交換してください。使用する電池は、単4形マンガン乾電池（R03、UM-4）x2本です。
(5)電池蓋を取り付け、ネジを締めてください。

〔クランプセンサ部、測定コードの収納方法〕



コードをホルダーに巻き付ける

◇ゼロ調整を行うと以下の動作をします。
①バーグラフの表示が消えます。
②調整されたカウント数だけ、最大カウント数が増減します。
(例) + 100カウントをゼロ調整した場合の最大カウント数は、6039 - 100 = 5939カウント。
③表示部に“>Δ”マークが表示されます。
④ゼロ調整中に、再度A ZERO ADJ.ツマミを押す、ファンクション切換スイッチ、>SEL ツマミを操作すると、ゼロ調整が解除されます。

◇A ZERO ADJツマミを2秒以上長押しすると、ゼロ調整は解除されます。

6-1-2 交流電流の測定
(1)ファンクション切換スイッチを“60A”または“120A”にセットします。
(2)>SEL ツマミを押して表示部に“>AC”のマークを表示します。
(3)被測定導体の1本をクランプセンサ矢印の中心に合わせてください（矢印の中心でない場合誤差を生じます）。表示部に測定値が表示されます。

注記◇交流電流の測定の場合、電流の方向は表示とは無関係です。

6-2 電圧測定

△ 危険

- 感電の危険を避けるため600V（対地電位300V）以上電位のある回路での測定は、絶対にしないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越える事のないよう充分注意してください。

注記◇電圧測定中は、クランプセンサをホルスターに収納してください。◇600Vを超える値を表示する場合がありますが、測定範囲は600Vまでです。

6-2-1 直流電圧の測定
(1)ファンクション切換スイッチを“>V”にセットします（表示部に“>DC”のマークが表示されます）。
(2)測定コードをショートして、表示がゼロになることを確認します。

(3)被測定回路の+側に赤の測定コード、-側に黒の測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。測定コードを逆に接続した場合は、表示部-が表示されます。

6-2-2 交流電圧の測定
(1)ファンクション切換スイッチを“>V”にセットします（表示部に“>AC”のマークが表示されます）。
(2)被測定回路に測定コードを接続します。

表示部に測定値が表示されます。

注記◇測定コードをショートしても、表示がゼロにならず、数dgtの値が表示されることがあります。

6-3 抵抗測定

△ 危険

- 電位のある回路での測定は、絶対にしないでください。
- 電池蓋を外した状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越える事のないよう充分注意してください。

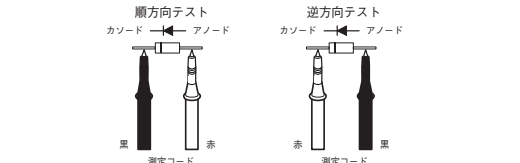
(1)ファンクション切換スイッチを抵抗“Ω/▶▶/▶/▶/▶”にセットします。
(2)>SEL ツマミを押して、表示部に“>Ω”のマークを表示、“>▶”のマークを非表示の状態（抵抗測定）にします。ファンクション切換スイッチを抵抗“Ω/▶▶/▶/▶/▶”にセットした直後は、抵抗測定の状態になっていますので、上記 >SEL ツマミの操作は不要です。
(3)このときの表示は、“>Ω”であることを確認し、測定コードをショートさせ、ゼロに近い値が表示されていることを確認してください。
(4)被測定抵抗の両端に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。

注記◇測定コードをショートしても、表示が完全にゼロにならない場合がありますが、これは測定コードの抵抗によるもので、不良ではありません。
◇測定コードがオープンの際は、表示は“>OL”となっています。◇高抵抗測定時、容量成分がある場合は測定値が変動することがあります。◇抵抗測定中は、クランプセンサをホルスターに収納してください。

6-4 ダイオード測定
(1)ファンクション切換スイッチを抵抗“Ω/▶▶/▶/▶/▶”にセットします。
(2)>SEL ツマミを押して表示部に“>▶”のマークを表示します。
(3)被測定ダイオードの両端に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。

〔ダイオードの順方向テスト〕
測定コードの赤をアノード側へ、黒をカソード側へ接続します。

〔ダイオードの逆方向テスト〕
測定コードの赤をカソード側へ、黒をアノード側へ接続します。



アフターサービス

●修理・校正を依頼されるには
お買い上げいただいた販売店または弊社にお送りください。

●製品のご使用に関するお問い合わせは
弊社にご連絡ください。

●校正周期について
本製品を正しくご使用いただくため、定期的（推奨校正周期1年）に校正をおすすめています。

●補修用品の保有期間
本製品の機能・性能を維持するために必要な補修部品を製造打ち切り後、5年間を目安に保有しています。

販売元：  **株式会社 イチネン TASCO**

　本社：〒577-0002　大阪府東大阪市福田上町1-17-20
　TEL:06-6748-9260　FAX:06-6748-9270
　HPアドレス：http://www.tascojapan.co.jp/

この製品の使用方法に関する技術的なご質問は、
タスコテクニカルサポートセンターへ
TEL:06-6748-9240

製造元：  **共立電気計器株式会社**